

2024 教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ「環境体験教室」			
題名・副題	めざせ植物ジュニアレンジャー(8) ～植物の名前はどこから～			
月日・時間	2025年1月26日(日) 10:00～12:00			
開催場所	はまぎん こども宇宙科学館 1階・会議室・隣接公園			
部会・講師名	生物部会 吉岡嗣二郎	参加数	9名	講師数 5名
写真・画像	 			
	オオバコとシロツメクサを観察しました		アベリアには「ツクバネ」がありました	
	 			
	植物版画作りに挑戦		美しい版画の完成です	
成果解説	<p>今回の講座は、「植物の名前」です。植物の名前はどのようにしてついたのでしょうか？その理由を観察(ウォッチング)しながら、自然のおもしろさ・不思議さを体験しました。</p> <p>冬場の公園で、誰でも知っている身近な植物の形態を観察し、その名前を確認しました。シラカシは、幹の中が白いこと、サルスベリは猿が木登りで滑ってしまいそうなこと。コブシは人のこぶしのような実がつくことから名前になったことを知りました。「アベリア」の日本名は、「ハナゾノツクバネウツギ」であり、花の下に羽子板の羽(ツクバネ)がありました。オオバコ(スモウトリグサ)とシロツメクサは草刈りのため小さいままでしたが、名前の由来を知ることができました。</p> <p>室内に戻り、「冬バージョン」としての植物版画を行いました。常緑樹は葉が水をはじき、苦戦しましたがきれいな作品ができました。また、参加した子どもからは「植物博士になりたい」との声がありました。</p>			